

憲法九条を守り生かす都政・国政に転換を! 集団的自衛権行使、国防軍、核兵器保有はとんでもない

12月16日投票の総選挙、都知事選挙では憲法九条をしっかりと守る人を選びましょう。マスコミの報道は第3極や政党の離合集散に焦点を当てていますが、肝心の政策についての報道はまともに論じられていません。集団的自衛権の行使を行えるようにするとか憲法を変えて自衛隊を「国防軍」にするといった自民党の選挙公約、その上に安倍総裁が交戦規程の法整備に踏み込んだことはまさに「戦争できる国」へ突進する危険な現れです。前原国家戦略担当相も九条改憲に同調しています。維新の会の石原代表は「日本は核を持って、徴兵制をやればいい」言っています。日本が軍国主義の戦前に回帰する動きは何としても食い止めなければなりません。九条改憲反対、消費税増税反対、脱原発などは国民の多数の意思ですが、今の国会議員の中では少数派です。国民の意思が反映する代表を選びましょう。九条の会講演会で、澤地久枝さんは「今、未来を選択する場所に立っている」と話しましたが、今こそ平和なときを見すえて、憲法九条をしっかりと守り生かす都政、国政に転換しましょう。



市民文化祭に展示し好評でした



昨年に続き、11月3、4日に秋川体育館・中央公民館で行われたあきる野市市民文化祭にあきる野9条の会は活動報告を展示しました。

五日市憲法草案を広める、原発ゼロへ、オスプレイNO!などを学び行動した活動を展示しました。「あきる野にこういう会があるんですね」「尖閣問題では軍隊の必要性があると思うが、戦争をするのは困ります」「戦争中はこんなにして戦争を刷り込んでいたんですね、怖いね（戦争柄の着物の展示を見た若い女性）」「ブログを見ています。応援しています」「こういう活動は必要ですね」などの感想が聞かれました。その反面「自衛隊や米軍がいるから抑止力になっている」と話していく人もいました。

今年も100人を超える市民が展示を見て説明を聞いていただけました。

雨の11・11脱原発 国会前大占拠

毎週金曜日に行われている脱原発・官邸前抗議デモに続き、原発事故から1年8か月にあたる11月11日には国会前大占拠の抗議デモが行われ、のべ10万人が行動に参加しました。夜になって時折激しく降る雨の中で、「原発いらない」「再稼働反対」を力強くアピールしました。

総選挙が近づき、各党が脱原発を言い出しました。大飯原発の再稼働や大間原発工事再開を容認したのは誰ですか。原発ゼロと言っても10年後だそうです。次はどの原発を再稼働するのでしょうか。今稼働しているのは一つ。電力も足りています。ただちに原発ゼロは可能です。



横田基地もいらない市民交流集会

10月27日、福生市民会館で、沖縄とともに声をあげよう横田基地もいらない！市民交流集会（主催：同実行委員会）が開催され、約800人が参加しました。（写真下）



午前中は琉球朝日放送制作の沖縄・辺野古のたたかひの記録「海にすわる」などが上映され、バスによる「横田基地めぐり」も行われました。

午後は、元外務省国際情報局長の孫崎亨（うける）さんが「アメリカの言いなり日本、日米安保の虚構」と題して講演しました。孫崎さんは、日米安保条約が米陸軍の下士官クラブで調印された事や、安保条約とは「米国が望むだけの軍隊を、望む場所に、望む期間駐留する権利をあたえるもの」で米軍が日本を守る義務を負うことではないと指摘。今起きている尖閣、竹島問題、さらに千島問題にも触れ、日本の領土問題をめぐる外交が、米国の世界戦略の中で翻弄されてきたと述べました。基地問題は脱原発やTPPなど全ての問題にリンクしている。まとめれば何かできる、連帯していけば、最終的にはつながっていくだろうと話しました。

その後、基調報告や米軍機の低空飛行訓練と闘う群馬県などの報告の後、孫崎さんもいっしょに横田基地沿いを福生駅までデモ行進しました。あきる野からは約40人が参加しました。

「原発被災地の子どもたち」で集会



11月11日、さよなら原発～にしたま～があきる野ルピアで第9回集会を開き「原発被災地の子どもたち」をテーマに学習をしました。講師は満田夏花さん。原発事故子ども・被災者支援法市民会議の事務局を

している国際環境NGO FoE Japanの方です。市民・県民が子どもたちを守るために立ち上が

っているのに、行政が動かない。県外避難者のための民間住宅借り上げを福島県が打ち切ってしまうそうです。福島県、以前二本松の友人に聞いた通りの冷たさです。増税して確保した東日本大震災復興予算19兆円が、震災と直接関係のないところに多額の予算が使われているといひます。ほんとうに許せないですね。（投稿T）

小森陽一さんが緊急学習会で講演

九条の会東京連絡会は10月29日、エデュカス東京で緊急学習会を行い「どうなる この日本！」と題して東大大学院教授・小森陽一さんが講演しました。オープニングでは真子 masakoさんが「約束」「リリーマルレーン」カルザスの「鳥の歌」などを熱唱しました。

小森さんは「原発ゼロの閣議決定が見送られ、安倍改憲総裁が復活し、維新の会を第三極とする改憲大連立が組まれようとしている」とのべ、「1993年に小選挙区制を導入して日本の政治を悪くした。九条の会が広がる中で2008年に15年ぶりに“憲法を変えない方がいい”という人が“変えた方がいい”という人を上回った」とこと、安倍政権を崩壊させ、反貧困ネットワークにつながり、政権交代を実現させたことなど、九条の会が果たしてきた役割を話しました。「今それが巻き返されてきている。九条の会の草の根運動によって改憲論の芽を摘みとっていかう」と熱っぽく語りました（写真）。

この講演はインターネットのFmA（自由メディア） <http://www.freemedia.co.jp/> で見ることができます。

□事務局だより□

- 定例サポーター会：第84回は12月8日15:00～市役所1階。
- あきる野9条の会賛同署名+10で 累計982名
- 「いぬねこ九条カレンダー」締め切りました。ご注文ありがとうございました。
- ブログでも情報を発信しています。

あきる野9条の会 でホームページをみましょう。A9ニュースもカラーで見られます。ブログもクリックしてください。事務局ブログにはサポーター会の報告や最新情報を掲載しています。☞